研究課題名

小児小腸バルーン内視鏡に関する多施設共同前方視的研究

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H27中倫小第15号）

多施設共同研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院小児科では、「小児小腸バルーン内視鏡に関する多施設共同前方視的研究」という多施設共同研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　27年　　7月　　21日

【研究課題名】

　小児小腸バルーン内視鏡に関する多施設共同前方視的研究

【研究期間】

　2017年3月31日まで

【調査対象】

年齢が19歳未満で小腸バルーン内視鏡を施行した症例

【研究目的・意義】

　小児小腸バルーン内視鏡について全国的に情報集積することにより，小児における小腸バルーン内視鏡の有用性について検討する．

【研究の方法】

小児小腸バルーン内視鏡について全国的に情報集積することにより，小児における小腸バルーン内視鏡の有用性について検討する．有用性とは病変部の特定に至るか，病変がないことを確認できたか，などバルーン内視鏡により診断の確定や治療した場合をさす．また，情報集積時に全小腸観察率，偶発症，治療，鎮静に関わる安全性についても検討する．

【個人情報の取扱い】

本研究に関わる個人情報の保護については，研究責任者／施設責任者が各施設において被験者識別番号用いて個人の匿名化を行う．番号対応表は個人情報管理者が施錠できる状態で厳重に管理する．研究の結果を公表する際は，被験者を特定できる情報を含まない形で公表する．

【研究機関】

　沖縄県立中部病院小児科

【本研究に関する問い合わせ先】

　　　沖縄県立中部病院　小児科　岩間達

　　　電話　098-973-4111　FAX　098-973-2703